【戦評シート】 第 43 回秋田県クラブバスケットボール選手権大会
兼第 30 回東北クラブバスケットボール選手権大会秋田県予選大会
（男子決勝）

平成２８年６月１２日（日）	協会名： 秋田県 バスケットボール協会
場　所：湯沢市総合体育館	記入者： 船　山　育　士

チームＡ			チームＢ
三種体協琴丘	７３	１１－１４ ２１－１１ １９－１３ ２２－１７	５５ 厚生倶楽部

スターター	チームＡ：	＃１，＃２，＃８，＃１６，＃２３
	チームＢ：	＃２，＃６，＃７，＃９，＃２３
ディフェンス（試合開始時）	チームＡ：	■ マンツーマン　□ ゾーン（　　）　□ その他（　　）
	チームＢ：	■ マンツーマン　□ ゾーン（　　）　□ その他（　　）

男子決勝は，5連覇を狙う第1シードの琴丘と第2シードの厚生倶楽部が順当に勝ち進み、14年連続の決勝同カードとなった。

第1Q，琴丘、厚生ともにマンツーマンディフェンスでスタートする。両チームとも出だしに硬さが見られ、トラベリングやオーバータイムなどのターンオーバーが目立ち、得点が伸びない。厚生は＃7草皆のドライブから＃2伊藤、＃6渡部へのアシストパスによるゴール下での得点。琴丘は＃3佐々木の3P、＃4石橋の速攻で対抗するも5分を経過し、6－5厚生リードのロースコアの展開。琴丘は残り2分を切り12－9とリードされたところで、ガードの＃18吉元を投入し、流れを変えようとするも展開は変わらず14－11厚生リードで第1Q を終了する。

第2Q，琴丘は＃12菊地を投入し、すかさず得意の3P を決め、16－16の同点に追いつく。さらに＃4石橋のスティールから＃18吉元が走り速攻で得点。3分経過したところで、琴丘が1回目のタイムアウトを請求する。タイムアウト明けに＃18吉元が3P を沈め、21－16と琴丘がリードを広げたところで、今度は厚生が流れを切るためのタイムアウト。厚生＃16大塚の速攻、＃41青井のゴール下で追いつこうとするも、＃12菊地の連続3P 等で簡単には追撃を許さない。結局、琴丘が逆転に成功し、32－25の7点リードで前半を折り返す。

3Q，後半開始早々、琴丘は＃3佐々木、＃4石橋の連続速攻で、さらに得点を引き離しにかかり、2けた得点差とする。厚生は、4分間で＃23安田のミドルレンジからのジャンプショットの2点のみと苦しい展開。後半最初のタイムアウトで立て直しを図る。しかし、脚が止まった厚生は、琴丘の展開の速さについていくことができず、＃4石橋、＃18吉元、＃91金澤連続速攻や＃3佐々木のゴール下への合わせのプレイで、48－31と逆に一気に点差が広がる。残り3分を切ったところで、ようやく＃41青井のゴール下や＃23安田の3P で加点するも、追いつくには至らず51－38で第3Q を終了する。

第4Q，琴丘は速攻で＃4石橋からの好アシストを受けた＃91金澤が得点を決める。厚生は＃8吉川のインターセプトからの得点などで追い上げを図るも、勝負どころでゴール下のイージーショットが外れてしまう。その間に＃0二田のジャンプショットが決まり、残り5分62－45とさらに点差を広げる。その後、厚生は＃9近江の3P、＃6渡部のゴール下でのショットで加点する。しかし、琴丘はルーズボールやオフェンスリバウンドを粘り強く拾い、確実に得点を積み重ねていく。結局、メンバーを交代する余裕を見せ、73－55でゲームを終了する。

三種体協琴丘が、2Q 以降厚生にリードを許すことなく5連覇を飾った。